

自己評価実施期間：令和7年3月1日～10日
 外部評価実施期間：令和7年3月15日～31日

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
				実施状況					
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		
I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営]									
(1) 理念の明確化									
①	サービスの特徴を踏まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている		○			・法人理念である『住み慣れた地域で自分らしく暮らせる地域をつくる』ことを念頭に置き、定巡サービスの特徴や機能がその実現に大きく活かされるものであると位置づけている。	<input checked="" type="checkbox"/> 意見なし <input type="checkbox"/> 意見あり
(2) 適切な人材の育成									
①	専門技術の向上のための取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している		○			・管理者より各職員に年複数回の面談の中で理念共有を行っている。 ・年次の研修計画にも理念研修が位置づけられている。	<input checked="" type="checkbox"/> 意見なし <input type="checkbox"/> 意見あり
		3	運営者は、専門技術（アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など）の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している	○			・導入しているICTシステム（スマケア）の母体会社が開催するオンライン月次研修に適宜参加している。 ・事業所内の年次研修計画に『緊急時の対応』を設定し毎年実施している。	<input checked="" type="checkbox"/> 意見なし <input type="checkbox"/> 意見あり	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				でき ている	ほぼ でき ている	でき てい ない こと が多 い	全 く でき てい ない		
		4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している		○			<ul style="list-style-type: none"> ・個々の職員の特性や習熟度に応じて担当するケースを振り分けている。不足する知識や技術を習得していけるよう管理者やリーダーが伴走しフォローしている。 	<input checked="" type="checkbox"/> 意見なし <input type="checkbox"/> 意見あり
②	介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている		○			<ul style="list-style-type: none"> ・ICT(スマケアシステム)を活用して連携先訪問看護事業所と適宜、情報共有に務めている。事業所の事情によりシステムでの共有ができない場合は、電話や書面での情報共有を意識的実施している。 	<input checked="" type="checkbox"/> 意見なし <input type="checkbox"/> 意見あり
(3) 適切な組織体制の構築									
①	組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置（業務・シフトの工夫）を行っている		○			<ul style="list-style-type: none"> ・ケア体制の強化により同性ヘルパーによる入浴等希望があっても対応できるようになった。 ・併設サ高住入居者の重度化や地域利用ニーズ対応のためマンパワーを増員している。 	<input checked="" type="checkbox"/> 意見なし <input type="checkbox"/> 意見あり
②	介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等（サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等）を、サービスの提供等に適切に反映させている	○				<ul style="list-style-type: none"> ・介護・医療連携推進会議の資料や議事録はいつでも閲覧できるようにしている。また、事業所内で回覧し会議の場でも共有している。 	<input type="checkbox"/> 意見なし <input checked="" type="checkbox"/> 意見あり

介護保険課古田様：事業所全体の質の向上につながるようけいぞくいただければと思います。

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
				実施状況					
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備									
①	利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている		○			<ul style="list-style-type: none"> ・ICT(スマケアシステム)により職員、連携先訪問看護事業所、居宅介護支援事業所、希望に応じてご家族もケア記録等をいつでも閲覧できるようにしている。 	<input checked="" type="checkbox"/> 意見なし <input type="checkbox"/> 意見あり
(5) 安全管理の徹底									
①	職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等ため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等)		○			<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全研修は毎年度計画的に研修を実施できている。 ・災害時のBCPについて策定しており、災害時に円滑な対応ができるよう定期的に研修や訓練を行っている。 	<input checked="" type="checkbox"/> 意見なし <input type="checkbox"/> 意見あり
②	利用者等の個人情報の保護	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている	○				<ul style="list-style-type: none"> ・鍵付きのキャビネットで利用者ファイルを保管する等、徹底している。 ・メール等で緊急的に利用者情報を扱う場合は伏字を使用するよう徹底している。 	<input checked="" type="checkbox"/> 意見なし <input type="checkbox"/> 意見あり

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
				実施状況					
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		
II 過程評価 (Process)									
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供									
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成									
①	利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている		○			・1日複数回の支援がないご利用者の場合でも、変化の兆候が見られた場合は、随時訪問回数を増やし、迅速にアセスメントできるようにしている。	<input checked="" type="checkbox"/> 意見なし <input type="checkbox"/> 意見あり
		12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている				○	・ICT(スマケアシシステム)の活用、月に1回の看護アセスメント訪問にできる限り同行し情報共有を実施している。 ・日々の支援の中でアセスメントを行っているものの定期的に情報をデータにまとめることが出来ていない。	<input type="checkbox"/> 意見なし <input checked="" type="checkbox"/> 意見あり 介護保険課古田様：自己評価により課題が抽出できたのはいい事だと思います。改善の取り組みを進めてください。
②	利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている		○			・ご利用者が今出来る事、将来的に出来る可能性がある事を意識したかわりができる計画を作成するよう計画作成責任者に指導している。	<input checked="" type="checkbox"/> 意見なし <input type="checkbox"/> 意見あり

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				でき ている	ほぼ でき ている	でき てい ない こと が多 い	全く でき てい ない		
		14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないように、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている		○			<input checked="" type="checkbox"/> 意見なし <input type="checkbox"/> 意見あり 	
(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し									
5	①	計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている		○		<input checked="" type="checkbox"/> 意見なし <input type="checkbox"/> 意見あり 	
	②	継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている		○		<input type="checkbox"/> 意見なし <input checked="" type="checkbox"/> 意見あり 介護保険課古田様：担当ケアマネジャーと密な連携をお願いします。	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				でき ている	ほぼ でき ている	でき ない こと が多 い	全く でき てい ない		
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供									
①	介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を生かした役割分担が行われている		○			・看護的判断と介護的判断を誤らないよう、ヘルパーへの指導を徹底している。	<input checked="" type="checkbox"/> 意見なし <input type="checkbox"/> 意見あり
②	看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている		○			・毎月のアセスメント訪問や看護モニタリングシート、24時間の日常的な報連相の中で指導・助言を得られており、大変安心の中で支援が提供できている。	<input checked="" type="checkbox"/> 意見なし <input type="checkbox"/> 意見あり
(4) 利用者等との情報及び意識の共有									
①	利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている		○			・利用開始前の利用者・家族に対しての重要事項説明の中で説明し、計画書の更新のタイミングでも説明するよう心掛けている。	<input checked="" type="checkbox"/> 意見なし <input type="checkbox"/> 意見あり

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				でき ている	ほぼ でき ている	でき てい ない こと が多 い	全 く でき てい ない		
②	利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている		○			・ご利用者の変化が見られた場合は速やかにご利用者、ご家族と報連相を行い、説明と同意を得たうえでサービス変更を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/> 意見なし <input type="checkbox"/> 意見あり
		21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている		○			・心身状況や生活状況等に目立つ変化があった際には適宜報告相談を実施している。十分に個人情報保護を行いながら、希望に応じてご家族にもICT(スマケアシシステム)でケア記録が見られるようにしている。	<input checked="" type="checkbox"/> 意見なし <input type="checkbox"/> 意見あり
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント									
(1) 共同ケアマネジメントの実践									
①	利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている		○			・ICT(スマケアシシステム)やLINEなどを活用し情報共有しながら共同でサービス調整している。ただし、ICTや書面に依存して情報提供が一方通行にならないよう、直接連絡をとり相談する事にも意識して取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/> 意見なし <input type="checkbox"/> 意見あり
		23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている		○			・必要に応じて実費訪問介護サービスや有償ボランティアサービス、訪問販売サービス等の併用をケアマネジャーへ提案している。	<input checked="" type="checkbox"/> 意見なし <input type="checkbox"/> 意見あり

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
				実施状況					
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		
②	定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている		○			<input checked="" type="checkbox"/> 意見なし <input type="checkbox"/> 意見あり 	
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献									
8	① 利用者の在宅生活の継続に必要な、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要なサポート（保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む）について、必要に応じて多職種による検討が行われている（※任意評価項目）		○			<input checked="" type="checkbox"/> 意見なし <input type="checkbox"/> 意見あり 	
		26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている（※任意評価項目）		○		・病院からの退院時は心身状況の変化や環境変化により生活不安が大きくなるため、柔軟な対応が可能な定巡サービスを利用するように働きかけている。 <input type="checkbox"/> 意見なし <input checked="" type="checkbox"/> 意見あり <small>ラハイナ水口様：アセスメント訪問を実施している利用者について。どのような基準で定巡訪看へと移行していくか判断が曖昧である為、CMとも情報共有や相談がもっとできたら良いと感じる。</small>		

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				でき ている	ほぼ でき ている	でき てい ない こと が多 い	全く でき てい ない		
②	多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている（※任意評価項目）			○		<p>・「小地域ケア会議」に参加し、地域課題の情報収集と定巡サービスを発信することができた。</p> <p>□ 意見なし <input checked="" type="checkbox"/> 意見あり 徳州会定巡池島様：もう少し自己評価が高くても良いと思う。 介護保険課古田様：どういった点ができていなかったと判断され「できてなかったことが多い」と評価されたのでしょうか。 くらし川端：地域の会議に参加できたのは「小地域ケア会議」のみだったので「できてなかったことが多い」と評価しました。</p>	
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画									
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案									
①	介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている	○				<p>・介護・医療連携推進会議の資料や議事録はいつでも閲覧できるよう事業所内に設置し、議事録は回覧、ホームページにも掲載している。</p> <p>□ 意見なし <input checked="" type="checkbox"/> 意見あり</p>	
		29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている			○		<p>・圏域のケアマネジャーを定期的に訪問し、定期的に発行している広報誌を手渡すことや宇治市のケアマネ勉強会にて夜間訪問型チラシ配布など、周知活動を行っている。</p> <p>□ 意見なし <input checked="" type="checkbox"/> 意見あり ラйна水口様：他事業所のケアマネジャーに定期巡回を勧める事があるが、「単位数が高い」と敬遠される事が多い為、もう少し定期巡回をアピールできれば良いと思う。広報にも力を入れる必要があるのではないかと くらし中村様：訪問介護を組み合わせた利用料と定期巡回の利用料の比較ができるものがあれば良いのではないかと</p>	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				でき ている	ほぼ でき ている	でき てい ない こと が多 い	全く でき てい ない		
(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画									
①	行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している			○	・行政の介護保険計画は確認しているが十分に理解しているとはいえない。	<input checked="" type="checkbox"/> 意見なし <input type="checkbox"/> 意見あり 	
②	サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている	○			・併設サ高住入居者の重度化対応をしつつ、地域居住者へのサービスも強化することができた。	<input checked="" type="checkbox"/> 意見なし <input type="checkbox"/> 意見あり 	
③	安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに関わる問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等（保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等）が行われている（※任意評価項目）			○	・「小地域ケア会議」に参加し、まちづくりに関わる問題認識を共有し、改善策を話し合った。	<input type="checkbox"/> 意見なし <input checked="" type="checkbox"/> 意見あり 介護保険課古田様：どういった点ができていなかったと判断され「できてなかったことが多い」と評価されたのでしょうか。 くらし川端：地域の会議に参加できたのは「小地域ケア会議」のみだったので「できてなかったことが多い」と評価しました。	

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
				実施状況					
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		
Ⅲ 結果評価 (Outcome)									
①	サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている		○			・計画目標に沿って日々の支援を行い、都度計画の変更をケアマネジャーと共に検討している。	<input checked="" type="checkbox"/> 意見なし <input type="checkbox"/> 意見あり
②	在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている		○			・定巡、夜間訪問型定巡の利用を通して多くのご利用者・ご家族からサービス利用により「24時間の安心」を感じている旨の言葉をいただいている。	<input type="checkbox"/> 意見なし <input checked="" type="checkbox"/> 意見あり <small>東風館宮本様：もともとは東風館で過ごされるご利用者の状態変化に合わせて定期巡回があったが、現在は入居相談の段階で定期巡回を紹介できるのは強みである。</small>

11

【外部評価参加事業所】

- ・宇治市介護保険課
- ・東宇治北地域包括支援センター
- ・介護支援センターくらしのハーモニー
- ・ラハイナ訪問看護ステーション
- ・宇治病院訪問看護ステーション
- ・洛和ヴィラ桃山居宅介護支援事業所
- ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護
宇治徳洲会